



愛媛大学大学院農学研究科SDGsシンポジウム

持続可能な化学物質管理に向けた 環境計測・生態毒性研究の最前線

愛媛大学農学部・大学院農学研究科では、2016年に「食糧」「生命」「環境」をキーワードに3学科制での教育研究活動をスタートさせて以来、SDGsに真摯に向き合い、5月に開催したSDGsシンポジウムでは、農学研究とSDGsのつながりを広く知っていただくことを目的として、多くの方にご参加いただきました。今回のシンポジウムでは、「持続可能な化学物質管理に向けた環境計測・生態毒性研究の最前線」と題して、前回ご紹介できなかった新たな研究成果の発信及びシーズの紹介を行います。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時

令和4年 **11月29日(火)**
13:30～15:30

オンライン開催 (Zoomミーティング)

申込み方法

<https://forms.office.com/r/Miibb9cJ19>



参加登録フォームから
ご登録ください。

【締切：11月24日(木) 17:00】

【プログラム】

- 開催挨拶
山内 聡 大学院農学研究科長
- 講演
司会進行：岸田 太郎 農学研究科副研究科長
「化学物質利用の持続可能性と環境モニタリング」
生物環境学専攻 環境保全学コース 高橋 真
水環境再生科学特別コース
「環境中化学物質の簡易迅速モニタリング」
生物環境学専攻 環境保全学コース 川嶋 文人
「持続可能な事業場排水の管理と環境影響」
生物環境学専攻 環境保全学コース 鑓迫 典久
「水圏化学汚染の生態毒性研究から海の豊かさを守る」
生物環境学専攻 環境保全学コース 石橋 弘志
「室内の化学物質汚染から考えるOne health」
生物環境学専攻 環境保全学コース 水川 葉月
- 閉会挨拶
今村 健志 副学長(広報担当) / 広報室長